

<多治見空手道教室だより>

R 3. 3. 29

2020年はコロナウイルスの感染拡大で、世界中が大きな影響を受けたので、例年だと年間で15回程度発行して来た、空手教室のお便りも10回しか発行出来ませんでした。2021年はコロナの緊急事態宣言が、岐阜県でも年明けから2月末まで発表されたので、教室の練習も1~2月は休会になり、3月末になりやっと1号のお便りを出す準備を始めています。

記

1. アディダスカップWeb大会 1月上旬 家で予選と決勝のビデオを撮影し大会事務局に送付
3年生男子形：優勝=西川原 利紅、2年男子形：準優勝=磯貝 英介、6年男子形：3位=磯貝 大介、



利紅：パッサイ 英介：平安五段 大介：パッサイ 利紅：金メダル 英介：銀メダル 大介：銅メダル

2. 拳和会本部指導者講習会 2/28(日) 拳和会本部道場
本部の指導者講習会があり、青島、服部和、高内の3人が参加しました。
10時から12時半までの指導でしたが、何時も通り基本の指導が大切だと、1時間半基本をやって、形はパッサイとセイエンチンの2形だけの指導でした。



宗家の基本指導 和美さんを指導する宗家 パッサイダイの指導 セイエンチンの指導

3. 全空連級位審査 3/20(土) 小泉中学校武道場
岐阜県大会に参加する選手は、全空連級位が必要のため、例年他の道場からの依頼もあって、青島と吉田先生が審査を行っていましたが、今年全体的に少なく、剛柔会拳聖館が3名、松清館空手アカデミーが2名、多治見教室が2名の7名だけだったので、形も組手も1人ずつ行いましたが、簡単に終わり全員合格でした。多治見教室は畑中芽衣が1級、片野孝紀が3級に合格しました。



26日金曜練習で記念写真 芽衣と孝紀の全空連認定証

- 4月1日から大分に行くからと、お母さんと睦さんと3人で退会の挨拶に来てくれました。木保3姉妹は小学生になってから入会しましたが、色帯の時からとても練習熱心で、姉の萌さんを始め空手教室の平安の形のビデオのモデルになる程で、特に鼓さんは非常に意志の強い生徒で、空手教室38年の710名の生徒の中でも、特に頑張り屋さんでしたが、折角来てくれたのに、みんなで写真も撮れませんでした。ところが26日の小滝第1集会所の金曜練習の日に、竜司先生に挨拶に来て下さり、金曜練習の皆さんと一緒に記念写真を撮ることが出来ました。
温かな家庭から遠く離れた大分県に旅立つ鼓さんですが、持ち前の強い気持ちで頑張ってください。

4. 3月最後の土曜練習 3/27(土) 小泉中学校武道場
年明けからのコロナの緊急事態宣言で、1月~2月と小泉中武道場が使えなかったため、3月最後の土曜練習では、久しぶりに参加者が多かったため、帯毎に基本形や指定形の練習をしっかりとやる事が出来ました。



黄色帯の平安初段 少年水色大人紫帯の平安2段 芽衣ちゃんと黒帯のパッサイ 全国大会前の凜空

5. 全国中学選抜大会 3/29(月) 第15回彩の国杯全国中学生空手道選抜大会 長野県立武道館
 大会名でも判る様に中学選抜大会は、北海道の北広島市で10年開催し、その後埼玉県で5年間開催する事にな
 っていました。15回は埼玉県が主催はするけど、開催場所は長野県に依頼した大会となりました。
 このため14回までは3位まで参加できたのが、今年から2位までしか参加出来なくなり、多治見教室では優勝
 した、小坂凜空だけが代表になりました。
 試合結果はNETで中継されたので、高内さんが凜空の試合結果をメールで送ってくれました。
 第1試合：パッサイ=4-1勝利、第2試合：ニーパイボ=4-1勝利、第3試合：ニーパイボ=5-0勝利、
 第4試合：チャタンヤラ=2-3敗戦でベスト8(5位入賞)
 お母さんの話では、1回戦は普段の凜空には見られないほど緊張していたそうですが、その後はドンドン良くな
 ったのベスト8だったとの事でした。おめでとう御座います！



大会看板前の凜空



試合会場



試合風景



入賞者の集合写真



岐阜県代表の凜空と毛利君



賞状に笑顔の凜空